# ティッシュボックスで作る

# お祝い宝箱ピニャータ

#### 準備するもの

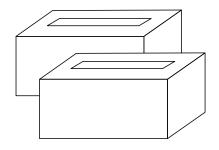
型紙 ●カッター(Aプラスなど) ●カッターマット ●ティッシュボックス2箱(高さがあるもの推奨) ●定規(30cm推奨) ●ペン ●マスキングテープ

ガムテープのりボンド1.5mの長さのひもやリボン

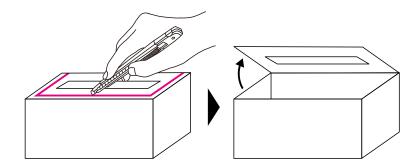
#### 作り方



### 1 宝箱本体の作り方

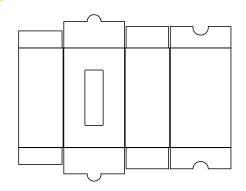


空のティッシュボックスを2箱準備します。 (フタはティッシュボックス以外でも代用できます)

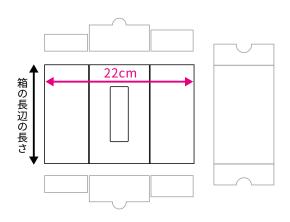


ティッシュボックス上部の3辺にカッターで切り込みを入れて、フタを作ります。※切るときに箱がへこむとケガのもとなので、力を入れすぎないように注意!

# **2** フタのアーチを作る(A)

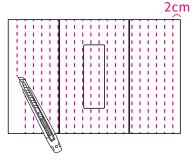


もうひとつのティッシュボックスは、1枚に開きます。※ティッシュボックスが2つない場合は、厚紙やお菓子の箱でもOK!

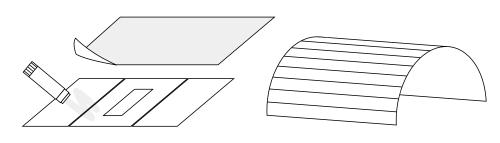


箱の長辺の長さ×22cmの長方形を切り出します。

# ティッシュボックスで作る お祝い宝箱ピニャータ

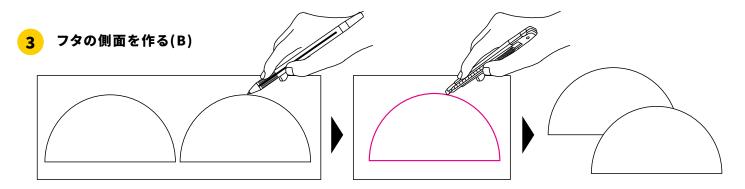


幅2cm間隔で折り目を作っていきます。カッターの刃を少しだけ出して、軽く切り目を入れると折り目ができ、きれいに折りやすくなります。



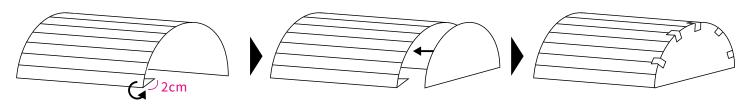
#### [POINT]

ティッシュの取り出し口が開いている場合は、折り目を作ってから 色紙を貼ると、見た目がきれいに! 折り目に沿ってティッシュボックスを 山折りに曲げ、アーチを作っていきま す。

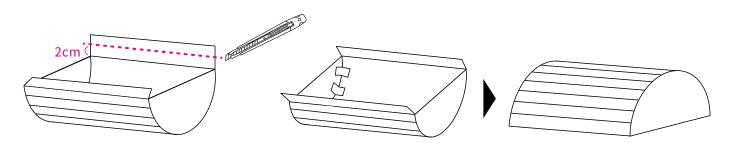


プリントした【フタ側面 型紙】を切り取り、手順②で使わなかったティッシュボックスの残り部分に、切った型紙に沿って半円の線を2つ書き写します。それから書き写した線に沿って、ティッシュボックスを切ります。半円を書くスペースがティッシュボックスに残っていない場合は、お菓子の箱などで代用できます。

# 4 フタのアーチ(A)とフタの側面(B)を組み合わせる



のりしろとしてアーチ (A) のはしを2cm折り込み、フタの側面(B)の曲線に沿って仮止めしていきます。(マスキングテープが便利です)

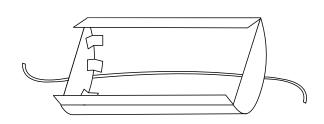


片方を仮止めできたら、のりしろを2cm残して、アーチ(A)のあまっている分を切り落とします。 ※ケガを防ぐため、切り落とす両はしに印をつけ、一度アーチを開いてから切り落としてください。

もう片方も組み立てた後、内側からテープで固定していきます。 固定できたら、仮止めのテープをはがします。固定するとき、ひも を1本通すスキマを開けておいてください。

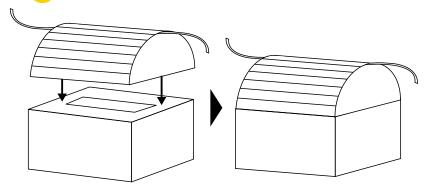


# 5 ひもを通す



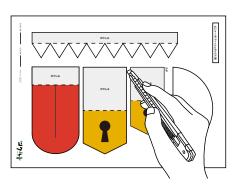
アーチ(A)とフタの側面(B)のスキマから、長さ1.5mのひもを通し、一周させて結びます。

### 6 フタを箱本体に固定する

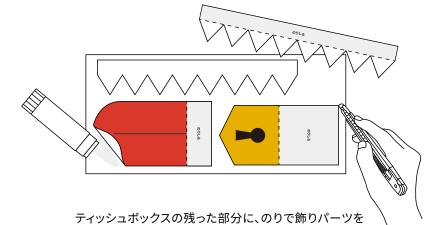


フタのパーツを、箱本体にボンドで貼りつけます。 ※フタに色紙を貼った場合、本体にも色紙を貼る と見た目がきれいに仕上がります。

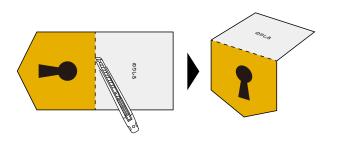
# 7 飾りパーツを作る



型紙の各飾りパーツを切ります。 ※カギは箱のサイズに合わせて選んでください。



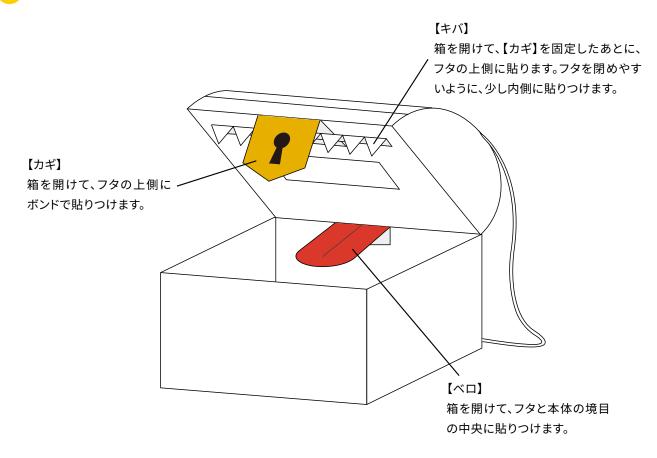
ティッシュボックスの残った部分に、のりで飾りパーツを貼り、型紙の線に沿ってそれぞれ切ります。飾りパーツを貼るスペースが残っていない場合は、お菓子の箱などで代用できます。



各飾りパーツの山折り線にはカッターで折り目を入れ、 山折りにします。

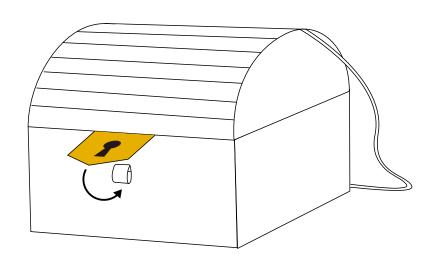


# 8 飾りパーツをつける



# 9 テープでフタを固定したら完成!

輪っかにしたテープを【カギ】パーツのウラ側に貼りつけて、フタと本体を固定したら完成!



実際にお菓子を入れてみましょう! たくさん入れて重くなり すぎると、箱がすぐに開いてしまうので、ちょうどいい分量 に調節してみてください。

